

1年間の概要

- ・ 4月10日入園式を行う。
新型コロナウイルス感染防止を考慮し、在園児の出席を止め、新入園児の保護者2名までの参加とする。
- ・ 4月20日から個人懇談を行う。
保護者とのコミュニケーションを図るため行っている。
- ・ 5月10日よりお弁当・給食開始。
- ・ 5月25日より31日まで緊急事態宣言発令。
市内幼稚園園長会との話し合いにより休園措置は、取らず自主登園と言う形で開園する。密室を避けるため園バス送迎は行わない取り決めをした。
幼稚園機能のお子さん(1号認定児)の殆どが、家庭保育となった。
- ・ 26日～28日に予定していた参観日は、中止となる。
- ・ 6月1日～20日まで緊急事態宣言延長になり、自主登園が延長する。
登園しているおさんは、保育所機能(2号認定児)15名～18名
- ・ 7月1日入船公園遠足。
年少児は、美術館まで歩きバスに乗る。年中児は、すし屋通りまで歩く。
年長児は、朝日湯付近まで歩く。
- ・ 7月中旬に延期していた学年別でのミニ運動会を園庭で開催。
保護者2名のみ参加。親子のスキンシップを中心に行うが、年長クラスはリレーも行い競争する楽しさを学ぶ。
- ・ 7月17日年長児 お泊まり保育。
小樽自然の村。天狗山登山で自然散策を楽しむ。
- ・ 8月27日～9月10日まで緊急事態宣言発令。
市内幼稚園園長会で話し合い各園に任せることとなる。手宮幼稚園は午前保育を行った場合バスを待っているお子さんがおにぎりを食べる為、食事をした後12時30分の時間短縮保育を行う。
- ・ 9月16日秋祭り。
現在幼稚園に通っている子どもの半数以上は、お祭りを経験したことがなく保育者の知っている心がわくわくするようなお祭りを体験させたい。屋台やゲームコーナーなど様々なお祭りを作り、年長児主体となってお店側、お客側と分かれて楽しんだ。その後は、自由遊びの中で自発的に子どもがお祭りを継続して遊ぶ姿が見られた。
- ・ 10月8日今年度初めて未就園児の「あひるの会」を開催した。
予約制を導入し親子7組が来園した。自由遊びの中に小さなお子様も仲間入りし、一緒に遊ぶ。30分程分級を行う。大型絵本やペープサート、リトミックなど様々なプログラムを用意し行った。
未就園の会の目的は、核家族等で孤立した保護者の子育て支援。

- ・ 11月6日発表会。
時間指定のクラス別発表を行い、お子さま1名につき大人は、2名までの参観制限を設けた。観覧も1席間隔を開け、換気しながら行った。
- ・ 11月15日から2回目の個人懇談を行う。
お子さまの普段の姿や友達関係、課題となっていることを保護者と共有する。
- ・ 12月18日クリスマス燭火礼拝。
一人のお子様につき保護者1名の参加。クリスマスを共に喜ぶ。
- ・ RSウイルスが流行り臨時休園の措置を取る。
12月22日の終業式を18日に変更した。
- ・ 3学期に入りコロナ感染者が全国で急上昇し、小樽市内でも感染者が増え始めたことで当園自粛するご家庭が増えてきた。市内幼稚園、保育園等、乳幼児の感染が増え始め臨時休園の措置を取る園も出はじめた。
- ・ 1月25日から3月21日まで、まん延防止等重点措置の要請があった(延長期間含む)。
市内の感染状況も増え続け、自主休園、自主送迎の家庭も増えている。2月24日～28日の参観日を中止した。
- ・ 3月に入りコロナ陽性者と感染の疑いのあるお子さまが、幼稚園から発生し休園には至らなかったが、19日に行う予定であった卒園式を26日に延期した。

1年間を通して今年度もコロナウイルスによる行事の変更や休園の措置など多々ありましたが、ご家庭の協力が徹底されていて園内感染を防ぐことが出来ましたこと本当に感謝です。

年長児は、料理体験等、計画を立てていましたが、集団で食べる物(カレー作り、餃子作り等)を取りやめ、個別で作って食べられる一人ピザ・クッキー・おにぎりなどを体験しました。遠足に関しては、入船公園まで歩くことが出来たことは喜びと自信に繋がりました。

水族館や動物園等、人の多いところへは計画を立てながらも行くことが出来ず残念でした。

保護者のご協力により光媒体コーティング剤で抗菌を行えたことは、園内感染を防ぐことにもつながったと思います。